

生命・後期
一般・社会人

大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 博士後期課程学生募集要項

2019年度 秋（9月・10月）入学

2020年度 春（4月）入学

一般選抜
社会人特別選抜

※出願の際は必ず冊子版を入手してください。



2019年4月

大阪府立大学大学院生命環境科学研究科

<http://www.bioenv.osakafu-u.ac.jp/>

目 次

生命環境科学研究科アドミッション・ポリシー	1
I 一般選抜	2
II 社会人特別選抜	8
生命環境科学研究科概要	14
博士後期課程出願書類	
入学願書（一般、社会人）	頁外
郵便振替払込票（入学検定料払込書）	頁外
受験票・写真票・郵便振替払込票貼付台紙	頁外
志望理由書	頁外
出願資格審査用	
出願資格審査調書	頁外
研究経過報告書	頁外
社会人出願協議手続用	
出願協議申請書	頁外
履歴書	頁外
受講計画及び研究希望調書	頁外
出願協議申請承諾書	頁外
出願協議結果報告書	頁外

※「入学願書」、「郵便振替払込票（入学検定料払込書）」及び「受験票・写真票・郵便振替払込票貼付台紙」以外の様式については、本学Webサイトからダウンロードすることも可能です。

生命環境科学研究科アドミッション・ポリシー

生命環境科学研究科は、生物の多彩な生命現象・機能の解明と利用をめざしたバイオサイエンス・バイオテクノロジー、持続的な生命環境の保全創成などについての高度な専門教育を行い、先進的な技術開発や研究、学術の発展に貢献できる人材、幅広い視野、高い倫理観と深い洞察力をもち独創的な研究能力を備えた国際的リーダーとなりうる高度技術者・研究者の養成をめざします。

したがって、生命環境科学研究科では、次のような学生を求めています。

1. 生命現象、生命機能、生命環境について深い関心と理解がある人
2. 論理的な思考力と自ら学ぶ探求心を備えている人
3. 専攻する学問分野の基礎と英語についての十分な能力を身につけている人

一般選抜学生募集要項

1. 募集人員

専攻名	分野名	2019年度秋入学 募集人員	2020年度春入学 募集人員
応用生命科学専攻	応用生命科学分野	若干名	12名
緑地環境科学専攻	緑地環境科学分野	若干名	5名

2. 出願資格

[2019年度秋入学]

次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 我が国において、修士の学位又は専門職学位を有する者及び2019年9月30日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2019年9月30日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2019年9月30日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2019年9月30日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2019年9月30日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校において教育課程を履修し、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものに合格又は2019年9月30日までに合格見込みで、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
 - a. 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - b. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2019年9月30日までに24歳に達する者
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

[2020年度春入学]

次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 我が国において、修士の学位又は専門職学位を有する者及び2020年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2020年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2020年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられ

- た教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2020年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2020年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校において教育課程を履修し、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものに合格又は2020年3月31日までに合格見込みで、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
- a. 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- b. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2020年3月31日までに24歳に達する者
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

【注意事項】

2019年度秋入学及び2020年度春入学ともに出願資格(7)、(8)、(9)による志願者は、事前に「5. 出願資格審査」による資格認定手続きが必要です。

3. 願書受付期間

[2019年度秋入学] 2019年7月23日(火)～7月25日(木)

[2020年度春入学] 2019年12月9日(月)～12月11日(水)

受付時間は、10時から12時及び13時から15時です。

入試課へ持参又は郵送にて提出してください。郵送の場合は、受付期間内に必着のこと。

出願にあたっては、事前に指導を希望する教員(教授又は准教授)と相談することが望ましい。

4. 出願手続

出願書類等		作成方法等
1	入学願書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙を使用してください。 ・3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3cm)を貼り付けてください。 ・裏面の履歴書も記入してください。
	受験票	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙を使用してください。
	写真票	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3cm)を貼り付けてください。
	郵便振替払込票 貼付台紙	<ul style="list-style-type: none"> ・【郵便振替払込受付証明書(お客さま用)】を貼り付けてください。 ・入学検定料が振込まれていない場合、【郵便振替払込受付証明書(お客さま用)】が出願書類と共に提出されていない場合、また【同受付証明書】に受付局日附印がない場合は、出願書類は受理しません。

2	入学検定料	<ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料 30,000 円を郵便局の窓口で、願書受付 1 週間前から受付期間内に本学所定の郵便振替払込票にて納付してください。 ただし、本学大学院博士前期課程から引き続き出願する者は、入学検定料は不要です。 (注) 郵便為替、現金での納付はできません。 ATM (現金自動預入払出機) での振込はできません。
3	志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の様式を使用してください。
4	修了 (卒業) 証明書 又は同見込証明書 (出願資格を証明する書類)	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学の学長又は研究科長等が発行したもの。 ・出願資格 (6) に該当する者は、「博士論文研究基礎力審査」に相当するもの合格 (合格見込) を証明する書類。
5	成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・履修した科目の単位数、成績評価、成績評価基準を記入したもの。
6	論文概要	<ul style="list-style-type: none"> ・修士の学位論文の概要 (8,000 字程度) 又はこれに該当するもの。 ただし、本研究科在学者は不要です。
7	受験票送付用封筒 (郵送での志願者のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・長形 3 号 (12.0cm×23.5cm) の封筒を使用してください。 ・送付先の住所・名前を記入し、404 円の切手を貼り付けてください。

【注意事項】

1. 出願書類を郵送するときは、必ず簡易書留 (速達) 郵便とし、封筒に「生命環境科学研究科入学願書在中」と朱書きしてください。
2. 上記各証明書については、コピーしたものでは出願できません。
3. 出願書類に不備等があるものは、受理できないことがあります。
4. 出願手続後は、記載事項の変更を認めません。
5. 出願手続を完了した者に「受験票」及び「受験心得」を交付します。
6. 名前が出身大学の修了証明書等の名前と異なる場合は、そのことを証する戸籍抄本等を提出してください。
7. 既納の入学検定料は次の事由以外は返還しません。
 - 返還可能な事由
 - ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - ・出願書類が不備等により受理されなかった場合
 - ・重複して入学検定料の払い込みをした場合
 - ※返還方法等は、出願締切日から 1 ヶ月以内に入試課に問い合わせてください。
8. 障がいがある等で、受験上及び修学上、配慮を希望する者は、原則として出願までに、できるだけ早く入試課に申し出てください。

5. 出願資格審査

2019 年度秋入学及び 2020 年度春入学の出願資格 (7)、(8)、(9) による志願者は、出願前に次により資格審査を受けてください。審査を受けようとする者は、書類を提出する前に指導を希望する教員 (教授又は准教授) に申し出てください。

(1) 提出書類

- ・出願資格審査調書 (様式 1)
- ・卒業 (修了) 証明書
- ・成績証明書
- ・研究経過報告書 (様式 2)

(2) 提出期日

受付期間 [2019年度秋入学] 2019年7月1日(月)～7月3日(水)

[2020年度春入学] 2019年11月11日(月)～11月13日(水)

受付時間は、10時から12時及び13時から15時です。

※郵送の場合は必ず簡易書留(速達)郵便とし、受付期間内に必着のこと。

封筒に「生命環境科学研究科出願資格審査書類在中」と朱書きしてください。

(3) 提出先

入試課

(4) 出願資格審査の結果

審査の結果は、本人あて文書により通知します。

【注意事項】

本研究科から追加書類の提出を求められた者は、速やかにその指示に従ってください。

6. 入学者選考方法

学力試験(口頭試問)、出願書類などに基づいて、総合判定します。

学力試験は、専門科目について口頭試問を行います。

口頭試問については、志望する試験科目区分で必ず受験してください。試験科目区分については、生命環境科学研究科概要(p.14～16)から指導を希望する教員(教授又は准教授)を確認し、該当する試験科目区分で受験してください。(入学願書に試験科目区分を記入してください。)

専攻	分野	試験科目区分	専門科目
応用生命科学専攻	応用生命科学分野	A	口頭試問
		B	口頭試問
緑地環境科学専攻	緑地環境科学分野	C	口頭試問

7. 試験日時及び場所

試験期日	試験科目	試験時間	試験場所
[2019年度秋入学] 2019年8月20日(火)	専門科目 (口頭試問)	10時開始	B11棟 C17棟
[2020年度春入学] 2020年1月7日(火)		※開始時刻は変更することがあります。	

試験に関する詳細は、試験当日9時にB11棟受験者入口側掲示板(案内図参照)に掲示します。

※変更の場合は別途通知します。

(予備日)

2019年度秋入学	2019年8月21日(水)	自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とします。
2020年度春入学	2020年1月8日(水)	

8. 合格者発表

[2019年度秋入学] 2019年9月2日(月)13時

[2020年度春入学] 2020年1月21日(火)13時

A3 棟前掲示板（案内図参照）に掲示するとともに、合格者については、本人あてに通知します。また、合格者受験番号の一覧を本学 Web サイトにも掲載します。Web サイトの掲載期間は、合格者発表日の 13 時から合格者発表日を含む 4 日目の 18 時までです。

なお、電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

9. 入学手続

(1) 入学の時期

[2019 年度秋入学] 2019 年 9 月 26 日

※ただし、2019 年 9 月 26 日から 9 月 30 日までの間に入学資格を得ることとなる者の入学日は、2019 年 10 月 1 日とします。

[2020 年度春入学] 2020 年 4 月 1 日

(2) 入学手続

[2019 年度秋入学] 2019 年 9 月 12 日（木）、13 日（金）

[2020 年度春入学] 2020 年 3 月 26 日（木）、27 日（金）

受付時間は、9 時 30 分から 12 時及び 13 時から 15 時です。

手続きの詳細については、合格者に通知します。

入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものと取り扱います。

入学手続書類は、必ず持参してください。郵送による受付は行いません。入学手続は代理人でも差し支えありません。

10. 学費（入学料・授業料）

(1) 入学料 (甲) 282,000 円 (乙) 382,000 円

[(甲) (乙) いずれも改定される場合があります。]

・入学料の (甲) とは、入学者本人又はその者の配偶者もしくは 1 親等の親族のいずれかが、2019 年度秋入学にあつては 2018 年 9 月 26 日以前から、2020 年度春入学にあつては 2019 年 4 月 1 日以前から引き続き大阪府内に住所を有する者に適用し、(乙) とは甲以外の者に適用します。

※2019 年 9 月 26 日から 9 月 30 日までの間に入学資格を得る者は、2018 年 10 月 1 日以前から引き続き大阪府内に住所を有する者になります。

・入学料は、入学手続時まで所定の振込用紙にて振込み納入してください。

・入学手続完了後は、入学料を返還しません。

(※本学大学院博士前期課程から引き続き進学する者は不要です。)

(2) 授業料 年額 535,800 円 (入学後、年 2 回分納)

(在学中に授業料改定が行われた場合には、在学生にも新授業料が適用されます。)

11. 長期履修制度

職業を有しているなどの事情により、標準修業年限（博士後期課程 3 年）での教育課程の履修が困難な学生を対象として、標準修業年限を超えて、計画的に履修し、教育課程を修了することにより、学位を取得できる制度です。

(詳細については、p.13 を参照してください。)

12. その他

(1) 入学日が 10 月 1 日の者も、9 月 26 日から開始している後期の授業を受講することができます。

(2) 出願にともなう個人情報は、選考目的以外には利用しませんが、入学者の試験成績は、本学における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。

(3) 個人別成績の情報提供について

受験者本人からの請求により、入学試験の成績を提供します。

請求期間は、合格者発表日から1年間とします。

詳細については、入試課まで問い合わせてください。

- (4) 自然災害等により、入学試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトの『緊急のお知らせ』に掲載しますので、確認してください。【 <https://www.osakafu-u.ac.jp/> 】

13. この学生募集要項に関する問い合わせ先

大阪府立大学入試課

〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 TEL 072-254-8319

社会人特別選抜学生募集要項

1. 募集人員

専攻名	分野名	2019年度秋入学 募集人員	2020年度春入学 募集人員
応用生命科学専攻	応用生命科学分野	若干名	若干名
緑地環境科学専攻	緑地環境科学分野	若干名	若干名

2. 出願資格

各種の試験研究機関、教育機関及び民間企業等に原則として1年以上正規の職員・社員として勤務する研究者、技術者、教員であって、入学後も引き続きその身分を有し、所属する機関の長の承諾を受けた者で、次の各号のいずれかに該当する者。

[2019年度秋入学]

- (1) 我が国において、修士の学位又は専門職学位を有する者及び2019年9月30日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2019年9月30日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2019年9月30日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2019年9月30日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校において教育課程を履修し、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
 - a. 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - b. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2019年9月30日までに24歳に達する者
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

[2020年度春入学]

- (1) 我が国において、修士の学位又は専門職学位を有する者及び2020年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2020年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に

- 相当する学位を授与された者及び2020年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2020年3月31日までに授与される見込みの者
 - (6) 外国の学校において教育課程を履修し、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
 - a. 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - b. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2020年3月31日までに24歳に達する者
 - (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

【注意事項】

2019年度秋入学及び2020年度春入学ともに出願資格(7)、(8)、(9)による志願者は、事前に「5. 出願資格審査」による資格認定手続きが必要です。

3. 研究課題

志願者の入学後の研究課題について出願協議を行いますので、出願申請に当たり、本研究科の専攻、分野の内容等を参考に、研究課題について希望を決めてください。

4. 出願のための協議手続き及び出願資格審査

出願協議を行いますので、志願者は、下記(a)～(f)の書類を提出してください。

なお、出願資格(7)、(8)、(9)による志願者は、出願資格審査も併せて行いますので、下記(g)～(i)の書類も提出してください。審査を受けようとする者は、書類を提出する前に指導を希望する教員(教授又は准教授)に申し出てください。

(1) 提出書類

- (a) 出願協議申請書(本研究科所定の様式)
- (b) 履歴書(本研究科所定の様式)
- (c) 修了(卒業)証明書(出願資格を証明する書類)
出願資格(6)に該当する者は、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものの合格を証明する書類
- (d) 受講計画及び研究希望調書(本研究科所定の様式)
- (e) 出願協議申請承諾書(本研究科所定の様式)
- (f) 出願協議結果報告書(本研究科所定の様式)
- (g) 出願資格審査調書(様式1)(出願資格(7)、(8)、(9)による志願者のみ)
- (h) 研究経過報告書(様式2)(出願資格(7)、(8)、(9)による志願者のみ)
- (i) 成績証明書(出願資格(7)、(8)、(9)による志願者のみ)

(2) 提出期日

受付期間 [2019年度秋入学] 2019年7月1日(月)～7月3日(水)

[2020年度春入学] 2019年11月11日(月)～11月13日(水)

受付時間は、10時から12時及び13時から15時です。

※郵送の場合は、必ず簡易書留(速達)郵便とし、受付期間内に必着のこと。

封筒に「生命環境科学研究科出願協議手続書類在中」と朱書きしてください。

(3) 提出先

入試課

(4) 出願協議の結果及び出願資格審査の結果

出願協議及び出願資格審査の結果については、本人あて文書により通知します。

【注意事項】

- ・本研究科から追加書類の提出を求められた者は、速やかにその指示に従ってください。
- ・名前が出身大学の修了証明書等の名前と異なる場合は、そのことを証する戸籍抄本等を提出してください。

5. 願書受付期間

[2019年度秋入学] 2019年7月23日(火)～7月25日(木)

[2020年度春入学] 2019年12月9日(月)～12月11日(水)

受付時間は、10時から12時及び13時から15時です。

入試課へ持参又は郵送にて提出してください。郵送の場合は、受付期間内に必着のこと。

6. 出願手続

出願書類等		作成方法等
1	入学願書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙を使用してください。 ・3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3cm)を貼り付けてください。 ・裏面の履歴書も記入してください。
	受験票	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙を使用してください。
	写真票	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3cm)を貼り付けてください。
	郵便振替払込票 貼付台紙	<ul style="list-style-type: none"> ・【郵便振替払込受付証明書(お客さま用)】を貼り付けてください。 ・入学検定料が振込まれていない場合、【郵便振替払込受付証明書(お客さま用)】が出願書類と共に提出されていない場合、また【同受付証明書】に受付局日附印がない場合は、出願書類は受理しません。
2	入学検定料	<ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料 30,000 円を郵便局の窓口で、願書受付 1 週間前から受付期間内に本学所定の郵便振替払込票にて納付してください。 ただし、本学大学院博士前期課程から引き続き出願する者は、入学検定料は不要です。 (注) 郵便為替、現金での納付はできません。 ATM(現金自動預入払出機)での振込はできません。
3	志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の様式を使用してください。
4	成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・履修した科目の単位数、成績評価、成績評価基準を記入したもの。
5	論文概要	<ul style="list-style-type: none"> ・修士の学位論文の概要(8,000字程度)又はこれに該当するもの。 ただし、本研究科在学者は不要です。
6	受験票送付用封筒 (郵送での志願者のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・長形3号(12.0cm×23.5cm)の封筒を使用してください。 ・送付先の住所・名前を記入し、404円の切手を貼り付けてください。

【注意事項】

1. 出願書類を郵送するときは、必ず簡易書留(速達)郵便とし、封筒に「生命環境科学研究科入学願書在中」と朱書きしてください。
2. 上記証明書については、コピーしたものではありません。

3. 出願書類に不備等があるものは、受理できないことがあります。
4. 出願手続後は、記載事項の変更を認めません。
5. 出願手続を完了した者に「受験票」及び「受験心得」を交付します。
6. 既納の入学検定料は次の事由以外は返還しません。

○返還可能な事由

- ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
- ・出願書類が不備等により受理されなかった場合
- ・重複して入学検定料の払い込みをした場合

※返還方法等は、出願締切日から1ヶ月以内に入試課にお問い合わせください。

7. 障がいがある等で、受験上及び修学上、配慮を希望する者は、原則として出願までに、できるだけ早く入試課に申し出てください。

7. 入学者選考方法

学力試験（口頭試問）、出願書類などに基づいて、総合判定します。

学力試験は、専門科目について口頭試問を行います。

口頭試問については、志望する試験科目区分で必ず受験してください。試験科目区分については、生命環境科学研究科概要（p.14～16）から指導を希望する教員（教授又は准教授）を確認し、該当する試験科目区分で受験してください。（入学願書に試験科目区分を記入してください。）

専攻	分野	試験科目区分	専門科目
応用生命科学専攻	応用生命科学分野	A	口頭試問
		B	口頭試問
緑地環境科学専攻	緑地環境科学分野	C	口頭試問

8. 試験日時及び場所

試験期日	試験科目	試験時間	試験場所
[2019年度秋入学] 2019年8月20日（火）	専門科目 （口頭試問）	10時開始	B11棟 C17棟
[2020年度春入学] 2020年1月7日（火）		※ 開始時刻は変更することがあります。	

試験に関する詳細は、試験当日9時にB11棟受験者入口側掲示板（案内図参照）に掲示します。

※変更の場合は、別途通知します。

（予備日）

2019年度秋入学	2019年8月21日（水）	自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とします。
2020年度春入学	2020年1月8日（水）	

9. 合格者発表

[2019年度秋入学] 2019年9月2日（月）13時

[2020年度春入学] 2020年1月21日（火）13時

A3 棟前掲示板（案内図参照）に掲示するとともに、合格者については、本人あてに通知します。また、合格者受験番号の一覧を本学 Web サイトにも掲載します。Web サイトの掲載期間は、合格者発表日の 13 時から合格者発表日を含む 4 日目の 18 時までです。

なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

10. 入学手続

(1) 入学の時期

[2019 年度秋入学] 2019 年 9 月 26 日

※ただし、2019 年 9 月 26 日から 9 月 30 日までの間に入学資格を得ることとなる者の入学日は、2019 年 10 月 1 日とします。

[2020 年度春入学] 2020 年 4 月 1 日

(2) 入学手続

[2019 年度秋入学] 2019 年 9 月 12 日（木）、13 日（金）

[2020 年度春入学] 2020 年 3 月 26 日（木）、27 日（金）

受付時間は、9 時 30 分から 12 時及び 13 時から 15 時です。

手続きの詳細については、合格者に通知します。

入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものと取り扱います。

入学手続書類は、必ず持参してください。郵送による受付は行いません。入学手続は代理人でも差し支えありません。

11. 学費（入学料・授業料）

(1) 入学料 (甲) 282,000 円 (乙) 382,000 円

[（甲）（乙）いずれも改定される場合があります。]

・入学料の（甲）とは、入学者本人又はその者の配偶者もしくは 1 親等の親族のいずれかが、2019 年度秋入学にあつては 2018 年 9 月 26 日以前から、2020 年度春入学にあつては 2019 年 4 月 1 日以前から引き続き大阪府内に住所を有する者に適用し、（乙）とは甲以外の者に適用します。

※2019 年 9 月 26 日から 9 月 30 日までの間に入学資格を得る者は、2018 年 10 月 1 日以前から引き続き大阪府内に住所を有する者になります。

・入学料は、入学手続時まで所定の振込用紙にて振込み納入してください。

・入学手続完了後は、入学料を返還しません。

(※本学大学院博士前期課程から引き続き進学する者は不要です。)

(2) 授業料 年額 535,800 円（入学後、年 2 回分納）

(在学中に授業料改定が行われた場合には、在学生にも新授業料が適用されます。)

12. 長期履修制度

職業を有しているなどの事情により、標準修業年限（博士後期課程 3 年）での教育課程の履修が困難な学生を対象として、標準修業年限を超えて、計画的に履修し、教育課程を修了することにより、学位を取得できる制度です。

(詳細については、p.13 を参照してください。)

13. その他

(1) 入学日が 10 月 1 日の者も、9 月 26 日から開始している後期の授業を受講することができます。

(2) 出願にともなう個人情報は、選考目的以外には利用しませんが、入学者の試験成績は、本学における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。

(3) 個人別成績の情報提供について

受験者本人からの請求により、入学試験の成績を提供します。

請求期間は、合格者発表日から1年間とします。

詳細については、入試課まで問い合わせてください。

- (4) 自然災害等により、入学試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトの『緊急のお知らせ』に掲載しますので、確認してください。【 <https://www.osakafu-u.ac.jp/> 】

14. この学生募集要項に関する問い合わせ先

大阪府立大学入試課

〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 TEL 072-254-8319

長期履修制度

(1) 趣旨

職業を有しているなどの事情により、標準修業年限（博士後期課程3年）での教育課程の履修が困難な学生を対象として、標準修業年限を超えて、計画的に履修し、教育課程を修了することにより、学位を取得できる制度です。

(2) 出願資格

次のいずれかに該当する者は、『長期履修許可願』を提出して出願することができます。

- a. 職業を有し、就業している者
- b. 育児、介護等の事情を有する者
- c. その他、相当の理由があると研究科長が認める者

(3) 修業年限

長期履修の期間は、博士後期課程の場合は、4年、5年又は6年で認められた期間とします。

また、長期履修が認められた後、その理由が解消した場合には、『長期履修期間短縮願』により履修期間の短縮を申し出てください。

(4) 長期履修制度にかかる授業料（年額）

通常の授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を、長期履修を認められた期間の年数で除した額になります。（在学中に授業料改定が行われた場合には、在學生にも新授業料が適用されます。）

また、長期履修期間の短縮が認められた場合は、本来授業料との差額を支払わなくてはなりません。

(5) 長期履修許可願の提出時期

入学願書の出願時に『長期履修許可願』を提出してください。

(6) 長期履修の許可

長期履修の許可及び長期履修期間の短縮の許可については、決定後連絡します。

(7) 長期履修の詳細については、必ず問い合わせをしてください。

提出書類のご請求及び問い合わせ先

大阪府立大学 教育推進課 教務グループ 生命環境科学研究科担当 (TEL072-254-9401)

(注意) 長期履修を出願する場合は、事前に指導を希望する担当教員と相談しておいてください。

大阪府立大学 Web サイト（入試情報）

<https://www.osakafu-u.ac.jp/admission/>

合格者発表（合格者受験番号）も掲載します。



生命環境科学研究科概要 (50音順)

<応用生命科学専攻 応用生命科学分野>

応用生命科学専攻では、地球上の生命あるものすべて（動物、植物、微生物）が生み出すさまざまな機能や生命現象を、バイオサイエンス・バイオテクノロジーの研究手法を駆使して解明し、さらに先端生命科学の多様な領域の融合によって、応用技術をつくりだすことをめざしています。この目標のために本専攻は、動植物・微生物のバイオサイエンスに関する教育研究を行うとともに、有用資源の開発と利用、新しいバイオテクノロジーの発展に貢献できる人材を養成します。

【試験科目区分：A】

(2019年4月1日現在)

名 前	職 名	主 たる 教 育 研 究 内 容
秋山康紀	教授	アーバスキュラー菌根菌 - 植物共生系における共生制御因子
乾 隆	教授	輸送蛋白質によるDDS、寄生虫の酵素化学、アレルゲン蛋白質の同定
片岡道彦	教授	微生物酵素のスクリーニングと有用物質生産への応用
川口剛司	教授	微生物機能の探索、解明、有効利用
阪本龍司	教授	微生物由来の植物細胞壁多糖分解酵素の機能解析、バイオマスの酵素分解
谷森紳治	教授	生理活性天然物の合成、ケミカルバイオロジー、ケミカルライブラリー
山地亮一	教授	機能性食品成分によるシグナル伝達制御の解明とその応用
赤川 貢	准教授	酸化ストレスによる生体成分の酸化修飾機構の解明と機能性食品成分によるその制御
石橋 宰	准教授	非コードRNA およびその関連蛋白質の構造と機能、骨代謝、生殖内分泌
上田光宏	准教授	未利用資源の酵素を用いた資源化、生物を用いた環境浄化
甲斐建次	准教授	微生物どうしの相互作用に係わる化学因子
岸田正夫	准教授	遺伝子覚醒化変異および細胞融合により育種された有用酵母の解析
炭谷順一	准教授	微生物由来糖質分解酵素および診断薬用酵素の機能改変、遺伝子発現制御
園田素啓	准教授	生理活性低分子の設計、構造有機化学－構造活性相関、多官能性化合物
谷 修治	准教授	微生物酵素の有効利用、および糸状菌の遺伝子発現メカニズム
原田直樹	准教授	栄養代謝制御における男性ホルモンおよび機能性食品因子の作用とクロストーク
藤枝伸宇	准教授	人工酵素の設計とバイオナノハイブリッド創出
中澤昌美	講師	ミドリムシの特異代謝系解析、遺伝子操作系の開発、未利用資源活用への応用
西村重徳	助教	糖質関連酵素の触媒機構解明のための速度論的、構造生物学的解析
日比野 威	助教	ブタ骨格筋由来アデニル酸リン酸転移酵素の蛋白工学的研究
三浦夏子	助教	環境変化に応答した微生物代謝制御機構の解明と有用物質生産への応用

【試験科目区分：B】

(2019年4月1日現在)

名 前	職 名	主 たる 教 育 研 究 内 容
青 木 考	教授	作物や寄生植物のゲノム解析、組織共構築における細胞間相互作用解析
今 堀 義 洋	教授	収穫後における果実・野菜の代謝調節機構の解明
太 田 大 策	教授	シトクロムP450、メタボロミクス、代謝ゲノム工学、システムズバイオロジー
小 泉 望	教授	植物の遺伝子発現制御機構の解析、遺伝子工学の育種への応用
杉 本 憲 治	教授	クロマチン修飾、抗癌剤と細胞分裂、生きた細胞の可視化とその動態の解析
高 野 順 平	教授	植物における栄養素輸送のメカニズムと応用、トランスポーターの細胞内輸送
東 條 元 昭	教授	土壌伝染性植物病原菌の分類と生態解析および遺伝子資源評価
横 井 修 司	教授	植物の相転移・記憶のメカニズムの解明と育種への応用
稲 田 の り こ	准教授	植物と病原性微生物との相互作用機構の解明
岩 田 雄 二	准教授	植物におけるRNAを介した遺伝子発現制御機構の解明とその応用
大 江 真 道	准教授	種々の水条件下における日本型水稻の生育反応性
岡 澤 敦 司	准教授	寄生雑草の化学的制御、植物有用特化代謝物の代謝工学、植物間相互作用
尾 形 善 之	准教授	バイオインフォマティクスの方法論開発と植物ゲノミクスへの応用
塩 崎 修 志	准教授	機能性成分高含有果実の生産技術開発 果樹野生資源の開発
三 柴 啓 一 郎	准教授	園芸植物の分子育種、ジーンサイレンシング機構の解明
山 口 夕	准教授	植物のストレス対応能力と食生産への影響
小 川 拓 水	講師	植物-微生物間の分子相互作用、メタボロミクス
手 塚 孝 弘	講師	植物育種、遠縁交雑の障害となる生殖隔離の解析と打破、DNA マーカーの開発
古 川 一	講師	遺伝子発現解析による植物生理の解明
松 村 篤	講師	農耕地生態系における作物生産と土壌微生物機能との相互関係
望 月 知 史	講師	植物ウイルスによる発病機構に関する組織化学的研究
和 田 光 生	講師	養液栽培による野菜の計画的安定多収生産技術の開発、植物工場
深 田 尚	助教	細胞の力学応答における細胞骨格の役割
築 瀬 雅 則	助教	作物の出穂開花性に関する生理遺伝学的研究

＜緑地環境科学専攻 緑地環境科学分野＞

生態学やヒトの生存環境に関わる学問分野を整備・統合し、生態学的手法を用いて健全な都市圏を支える緑地環境の保全創成についての教育を行い、循環型社会の構築に貢献できる高度な専門技術・研究能力を備えた人材を育成します。

【試験科目区分：C】

(2019年4月1日現在)

名 前	職 名	主たる教育研究内容
加我宏之	教授	緑地計画、景観計画、ランドスケープデザイン、住民参画型の緑地管理
北宅善昭	教授	自然生態系保全、閉鎖生態系生命維持システム構築、循環型農業生態系構築
平井規央	教授	動物生態学、生物多様性、生物間相互作用、昆虫類の生活史
藤原宣夫	教授	緑化工学、ミチゲーション、水辺再生、文化的景観、地球温暖化
堀野治彦	教授	水循環、農業・農村・緑地システムの多面的機能、持続的水環境の管理
山田宏之	教授	都市気候、微気象、温熱環境、都市緑化
青野靖之	准教授	都市気候、広域熱収支、衛星リモートセンシング、植物季節
今西純一	准教授	ランドスケープマネージメント、自然や歴史・文化を活かした地域づくり
植山雅仁	准教授	気象観測、リモートセンシング、微気象、CO ₂ 交換、生態系モデリング
木全卓	准教授	土質材料、地盤解析、緑化基盤、予防保全
渋谷俊夫	准教授	植物-環境の相互作用、植物の環境ストレス応答、園芸生産における環境調節
武田重昭	准教授	緑地計画、景観計画、居住空間整備、ニュータウン再生
谷川寅彦	准教授	灌漑、緑化、環境、土壌
中桐貴生	准教授	水資源環境保全、水循環、水文・水理学、流域水管理
中村彰宏	准教授	室内緑化、種子散布、埋土種子、森林管理、移入種
西浦芳史	准教授	環境親和型生物生産のシステム化、ロボット化、計測制御技術
平井宏昭	准教授	先端的植物生産管理技術の開発
遠藤良輔	講師	生体画像計測による環境応答解析、バイオマス利活用型の植物生産
櫻井伸治	講師	水-土壌-植物間における物質挙動、水循環、水質管理、流域環境保全
上田昇平	助教	進化生物学、分子系統学、保全生物学、共進化、生物間相互作用
上田萌子	助教	植生景観、海岸緑地、地域文化、歴史的緑
浦出俊和	助教	環境経済評価、地域資源管理、多面的機能、グリーンツーリズム
工藤庸介	助教	施設景観、多面的機能、性能照査型設計法、基盤施設の維持管理
松尾薫	助教	緑地計画、景観計画、土地利用計画、都市環境、GIS